



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE
T S Y'
 東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
 チャーター認証日 1989年5月 2日
 チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
 2-18-12,NISIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
 PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5:00
 (但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
 第二例会：翌々週火曜日 午後5:00

2025年12月号ブリテン 第418号

会長	小山	久	恵
副会長	大谷	博	愛
書記	御園生	好	子
会計	大森	裕	子
直前会長	御園生	好	子
担当主事	鳩山	哲	郎

2025-2026年度主題(Thema)

Our Motto	国際標語
国際会長	エドワード・オン
アジア太平洋会長	田上正
東日本区理事	山下真
あずさ部部長	山口直樹
サンライズ会長	小山久恵

IBC: 台北ユニオン DBC ; 東広島・京都プリンス

「信念、愛、行動」	
「共に、より強く」	(シンガポール)
「信念と愛を持って行動しよう」	(熊本)
「ワイズのらしさ再発見」	(十勝)
「垣根を低くし、活発な活動を」	(武藏野多摩)
「例会の出席を第一としよう」	

12月山中湖クリスマス会のお知らせ

とき 12月6日(土)
 ところ YMCA 山中湖センター

◆プログラム

開会点鐘	会長
ワイズソング・ワイズの信条	一同
「YMCA 山中湖センター地域の子供とクリスマス会」	
閉会点鐘	会長
◎富士五湖クラブとの合同例会	
例会後、お鍋を囲んで本音で語ろう会	

12月以降の予告

12月23日 お散歩例会&納会
 1月10日 在京ワイズ新年会

12月のハッピーバースデー

御園生 好子さん 12月6日

11月例会出席者

11名
 (出席率 84%)

11月第一例会報告

菰渕 光彦

11月13日(木) 17時～19時まで、東京 YMCA 山手センター301教室にて会場と Zoom のハイブリッドで行われました。小山久恵会長による開会点鐘のあと、ワイズソング、ワイズの信条、本日のゲストスピーカー元日本現代詩人会理事長である新延拳(にいのべけん)さんの紹介をお伝えしたあと、「日本の近代詩に影響を与えた讃美歌 - 島崎藤村の例」という卓話題で話しが始まりました。「日本の近代詩の始まりは『新体詩抄』(1882年)からでそれまでの漢詩や俳句・短歌の世界とは違う西洋のロマン主義を取り入れたが、それ以前に西洋歌詩を伝えたものとして1874年に日本で出版された讃美歌の詩があった」とのことです。



その後、会場参加者による藤村の「逃げ水」（若菜集）朗誦、讃美歌「ゆふぐれしづかに」朗誦の後に、新延さんから「朗誦で気づかれたことの自由発言がありますか？」と質疑。讃美歌のオルガン演奏収録テープ発表、ペーパー配布とパワーント映写などで讃美歌『ゆふぐれしづかに』と藤村の詩『逃げ水』の違いの確認をしました。ここで明らかになったのは、讃美歌は「罪」を歌い、藤村の逃げ水は「恋」を歌っていた。台詞の字数が「7、5調」から「8、6調」に変わったことで表現がまろやかになった。まだ話すことはたくさん有るが、時間が過ぎてしまうので質疑応答に入つて終了。



テースティングではワインとチーズとパンを味わい、ハッピーバースデーを全員で歌いました。

会長による閉会点鐘で後始末の後、近くの新潟料理のお店で二次会の「本音で語ろう会」は全員参加。三次会は半数が残り、久しぶりに遅くまでの飲み会となりました。

出席者：小山会長、大谷、御園生、今村、江原、菰渕、柴田、長津夫妻、立田、大森、鳩山主事、新延さん（卓話者）、浅羽さん（ビジター、埼玉クラブ）、久保田さん（八王子クラブ、ZOOM参加）



伊東クラブ 50周年記念例会に出席して

小山久恵

11月15日土曜日、伊東のサンハトヤにて行われました。14時に受付け開始、15時から開会の予定が、ギャベルを忘れて取りに行つたため、30分遅れの開会となりました。



金子会長による開会点鐘、山田次期会長の言葉の後、伊東市少年少女合唱団が、みかんの丘等を美しいハーモニーで歌い、参加者を迎えてくれました。会長から合唱団に、助成金贈呈があり、この後、ワイズの信条、ワイズソング、讃美歌312番を富士宮クラブのメンバーである佐野加奈さんのフルートの伴奏で歌いました。会長挨拶、東日本区理事、富士山部部長、静岡YMCA理事長の紹介、京都部部長からのビデオレターが披露され、続いてメモリアルアワー、50周年記念事業として、北見クラブとのDBC締結、チャーターメンバー表彰があり、稻葉副会長の閉会のことば、金子会長の閉会点鐘で例会は終わり、写真撮影の後、場所を二階のレストランに移し、祝賀会となりました。

祝賀会会場では、お料理が所狭しと並んでいて、ご飯もお吸い物、デザートまで置かれていて、皆が、早速飲み始め、食べ始めているのにはびっくりしました。それに伴い、お喋りも各テーブルでしているため、祝辞は聞こえず、食前の感謝と乾杯もする前に、殆ど食べ尽くしていました。

我が東京サンライズとDBCの京都プリンスから大勢出席していて、ご挨拶ができた良かったです。日帰りだったため、途中で帰ってしまいました。



小山会長、御園生、長津、飯尾豊さん(京都プリンス)

長野クラブ設立 15 周年記念行事報告

菰渕光彦

10月25日(土)長野クラブ設立・チャーター15周年「栄村こしひかり特別例会」へ、新幹線で飯山経由 JR 飯山線で森宮野原駅に到着。長野クラブ森本さん、副会長福島さんにマイクロバスでお出迎えいただき、紅葉前の山道を登り、会場トマトの国に到着しました。三部ワイズディナーまで残ることができて参加のみなさんのご配慮に感謝いたしました。

第一部 15:00～15:30 特別例会 和室

会長の開会点鐘、フルートによるワイズソングで一同斉唱、ワイズの信条を一同唱和。湯田会長の聖書朗読/開会祈祷、会長挨拶、東日本区理事山下真さんからの祝電の披露と山口直樹あづさ部長のご挨拶。森本俊子書記のゲスト紹介と長野クラブ15年のあゆみの紹介では「青山さん、湯田さんの若い人が会長を担い大変嬉しい」とお話をされた。湯田会長による報告、一同アカペラで YMCA の歌を3番まで唱和、会長による閉会点鐘。

第二部 15:30～16:30 記念卓話 和室

ゲスト齋藤真吾氏(栄村議会議員、震災時消防団副団長)は「長野県北部地震・被害概要説明書」を配布のうえで「栄村大震災における消防団活動」の話をされた。当時「過去の中越地震時防災マニュアル見直しの際に『一番

大切なのは初動体制』というスローガンで、震災の前年(平成22年)に再度訓練を行ったことが良かった。」ゲスト福原一男氏(栄村議会議員、元・村振興公社総務係)は、「なぜ栄村議会議員を目指したか。今とこれからの栄村について」と、レジュメを配布されて語られた。

「無投票で栄村村会議員になり最初不安だったが、自分が中心として再構築することで栄村の方々とのコミュニティ一作りが大切」と強調。前向きな良いお話をでした。

第三部ワイズディナー(懇親会)18:00～20:00 宴会場

司会は書記森本さん、食前の祈りは(仏教式)副会長福島貴和さん、乾杯は甲府やまなみ仙胴田安宏さんでした。テーブルは、埼玉クラブ副会長上松寛茂さん、富士山部伊東クラブの古田さん、甲府21クラブの水越さんが一緒に若い人とキャリアのある人と、埼玉クラブ会長浅羽俊一郎さんもお近くの席で賑やかでした。みなさん一人残らずアピールが続きました。締めは森本俊子さんの指揮で「あづさの道」を大合唱。松本クラブ大和田さんのお車で快適に新幹線+山手線で0時に帰宅できました。ありがとうございました。

11月第二例会報告

大森裕子

11月25日、11月第二例会が山手センターで行われました。

議題は以下の3点でした。

- 12月6、7日に予定されている山中湖クリスマスについて出席者、プログラム、例会後の懇親会の再確認。
- お散歩例会&納会のプランおよび納会会場の相談。場所は池袋・要町付近で決定しました。
- ブリテンの原稿の割り振り

出席者: 小山会長、御園生、大谷、今村、大森、菰渕、長津

東京 YMCA 国際協力街頭募金

今村 由紀

東京 YMCA 国際協力募金が11月15日(土)新宿駅前で行われました。菰渕さんがお忙しい中、募金箱を

持って呼びかけている列に参加して協力してくださいました。私は中野坂上から新宿駅で乗り換えて笹塚に帰る途中、3時半過ぎくらいに新宿駅南口に行きました。甲州街道ではちょうど沖縄関連のデモが行われていて、かなりの騒音でしたが、YMCAの若いメンバーがそれにも負けず、元気に大声で募金を呼びかけていました。私は残念ながらお手伝いはできませんでしたが、些少ですが募金に協力させていただきました。この活動が、バングラデシュほか途上国で貧困や紛争の中にいる子供たちの支援に貢献できることを願います。



ひよこのつぶやき vol:270

大和クリエイティブYサービスクラブ
会長 小松 伸史

2024年11月24日にチャーターナイトを迎えた大和クリエイティブYサービスクラブは、音楽を通して学校や世間になじみにくい子どもや青少年の居場所づくりの提供を大きな活動目標としてできたクラブです。会員の多くは会社などの経営者でとてもお忙しい方々ですが、時間を上手に調整してクラブを盛り上げて頂いております。

本年7月に保育園を2つ経営しながら、新たに市民の居場所づくりを始めた方が入会し、本年中に30代の

弁護士の方が入会いたします。良くない事を何かのせいにするのではなく、世の中を良くするのに自分の力を発揮したいと考える方々は多くおります。

10月13日には大和YMCAにてシェアハウスの方々とディサービスの方々20数名のみなさまに三味線を入れた民謡と一緒に掛け声を入れて大いに楽しんでいただけました。

10月20日には神奈川の栄光学園で、ミュージカルを生徒の皆さんを入れての公演を行ってきました。次は地元の皆さんと共に、音楽を通しての居場所づくりに力を注いでまいります。又、大和には音楽家のプロ集団が作ったライオンズクラブが本年チャーターいたしました。お互いに協力できることも多く今後の活動にプラスになりますので、さらに会員を増やして諸先輩のワイス活動を参考にさせて頂き、YMCAの精神に役立つ活動をして行きたいと思います。

最後になりますが、大和YMCAの島田館長をはじめ、みな様にはいつもご配慮を頂き心より感謝申し上げます。

山中湖センターの様子

山中湖センター 荒木 晓

今年の山中湖村の紅葉はとても鮮やかにまた長く美しく色付いていましたが、とうとう紅葉も落ち始めて冬支度となりました。11月に入ってからは最低気温が氷点下になり始め、氷や霜柱など冬を感じる山中湖センターとなっております。また、熊の目撃情報もあった秋でしたが幸いな事に山中湖センターでは被害はありませんでした。来年以降もきっと熊の目撃情報などあるでしょうが、大きな事故、被害なく過ごせる様に気をつけて参りたいと思います。

さて、11月は今年最後のお客さんの受け入れを行い、その後は施設の大掃除やメンテナンスがメインとなります。今年のキャンプも沢山の方が利用してくださいました。子どもたちの笑顔や笑い声、キャンプソングなどがキャンプ場に響き渡っていたことが懐かしく感じられています。また山中にみなさんが戻ってきてくれることを信じて、心を込めて清掃を行って参りたいと思います。12月にはクリスマス会もあります。みなさんが素敵な時間を過ごし新たな年を迎えられます様にお祈りいたします。

YMCA ニュース

山手センター 嶋山徹郎

★やまでのまつり開催★



10月5日（日）、山手コミュニティーセンターにて毎年恒例の「やまでのまつり」が開催されました。プログラム登録者や会員、地域の方が多く集い、レクリエーションやラッフル抽選会、各種催しを楽しみました。益金は350,689円に上り、能登半島支援やフレンドシップファンド、国際協力募金やユースボランティア養成募金に充てられます。ご協力に感謝申し上げます。

やまでのまつり
ごほうこく

ご支援・ご来場ありがとうございました！

みなさまが楽しく参加いただいた結果
収益金は**350,689円**となりました。
当日運営に関わったボランティアは…
62名でした。

たくさんあそびました!!

飲食店、謎解き、冬物販売市やゲームコーナー等、14のブースに来場いただき、大盛況でした。抽選会も盛り上りました。

募金アンケート結果!!

投票総数169票をそれぞれ分配して、募金額は以下の通りとなりました。
ご協力ありがとうございました。

能登半島豪雨支援へ	65票	134,880円
ユースボランティア養成へ	46票	95,454円
国際協力募金へ	35票	72,628円
フレンドシップファンドへ	23票	47,727円

来年もみなさんのご参加をお待ちしております!!



★クリスマス募金のお願い★

東京YMCAでは毎年この時期に「クリスマス募金」をお願いしています。

貧困や紛争などさまざまな困難のなかにある方々のため、小さくても私たちのできること持ち寄って、働きかけをしてみませんか。ご協力をお願いします。

【入金方法】

1. 銀行振込

【振込先】

●みずほ銀行 神田支店 普通 1677931

*口座名義は「公益財団法人東京ワイエムシイエイ」です。

*お名前の前に「クリスマス」とご記入ください。

2. クレジットカード決済

*「クリスマス募金」をご選択ください。

クレジットカード決済はこちら

【税額控除について】

公益財団法人東京YMCAへのご寄付は、所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置が受けられます。

<YMCA ニュース>

<https://tokyo.ymca.or.jp/news/2025/12/20251202-1.html>



編集後記

ブリテン 12月号をお届けします。早いもので、もう 1 年が終わろうとしています。今年 1 年の抱負、皆さまはどれだけ果たせましたでしょうか？私ごとですが、愛犬を連れての 2 度の関西遠征の実現、大好きなミュージカルや宝塚歌劇の観劇等、半分くらいは果たせたと思っています。暮に入るとちらほら喪中葉書が届き始め、明日はどうなるかわからない身、これからも行きたい所に行き、会いたい人に会い、やりたいことをやるとの思いが改めて強くなりました。

今月の「ひよこのつぶやき」は、大和クリエイティブ Y サービスクラブの小松仲史会長に書いていただきました。音楽を通しての地域の皆さんとの居場所づくり、素晴らしい取り組みですね。今後のご発展をお祈りしています。皆さん、ご家族やご友人と楽しいクリスマスを過ごし、よいお年をお迎えください。

